

IOSCO、世界投資者週間のテーマ（第8版）を公表

–2024年の世界投資者週間では、テクノロジーとデジタル金融、暗号資産、サステナブル・ファイナンスに焦点を当てています–

証券監督者国際機構（IOSCO）/MR/14/2024

2024年7月10日、マドリッド

世界投資者週間(WIW)は、1週間にわたり展開するグローバルなキャンペーンであり、投資者教育と投資者保護の重要性に対する意識を高めるとともに、この2つの重要な分野における証券規制当局の様々な取組みにスポットを当てています。

WIWの主な目的は2つあります。(i)投資者教育、投資者保護、金融リテラシー向上のために大切なことをメッセージとして発信すること、そして、(ii)投資者が学べる機会を促すことです。このキャンペーンはまた、投資者教育と投資者保護の取組みに関するIOSCOメンバー（各国の証券規制当局）間の協力を強化することも目的としています。

WIWの実施期間は法域によって異なる可能性がありますが、IOSCOでは2024年10月7日から始まる週を今年のWIWと決めました。その期間では、100を超える法域を代表する機関が共になり、世界中の投資者に影響を与えている注目の問題について、投資者に向けた周知を行います。

今年の主要テーマは以下のとおりです。

- テクノロジー&デジタル金融
- 暗号資産
- サステナブル・ファイナンス

これらのほか、以下の補足テーマに関する討論とワークショップもあります。

- 詐欺の未然防止
- 投資者としての強靱性
- 投資の基本

IOSCO理事会の議長であり、ベルギー金融サービス市場庁の長官でもあるジャンポール・セルベ氏は次のように述べています。

「昨年の世界投資者週間には118の法域が参加し、約7億3千万人にその内容をお届けできた。今年も私達は前進し続ける必要がある。技術の進歩やAIの利用拡大に伴って新たな課題が生じているほか、暗号取引、フラクショナル（単位未満）取引、ゲーミフィケーション、コピー取引が注目を集め始めている。今年のWIWはこれまでの成功を土台に、こうした問題に対する投資者の意識を高めるものになると確信している。その成功に貢献することを楽しみにしている。」

今年のテーマはIOSCOの第8委員会で合意されたものです。同委員会では個人投資者教育と金融リテラシーに関する議論と検討を行っており、先進法域と新興法域の双方の市場から38名のメンバーが参加しています。

IOSCOの第8委員会の議長を務めるパスカル・ムナフォ氏は次のように述べています。

「今年の主要テーマは、第8委員会のすべてのメンバーと幅広い対話をする中で定めたものであり、これらが今日の投資者が直面している最も切迫した課題であるとの共通認識に基づき反映したものである。他の委員会とも緊密に連携しながら、投資者保護と投資者教育に対する包括的かつ統一的なアプローチとなるようにした。これらの重要分野にスポットライトを当てて、ますます複雑化する金融環境に対応するために必要な知識とツールを提供する。これをもって、世界中の投資者の助力となり、投資者保護を実現したいと考えている。」と述べた。

2024年のWIWは、10月9日に開催される[金融基準計画委員会\(FSPB\)の特別企画「世界金融計画の日」](#)の支援を受けています。

更なる情報と参加方法の詳細については以下をご参照ください。

www.worldinvestorweek.org

また、以下のSNSでWIWをぜひフォローしてください。

Facebook([@worldinvestorweek](#))、X (旧Twitter) ([@ioscowiw](#))、

Instagram([@ioscowiw](#))